

みんなの ひろば



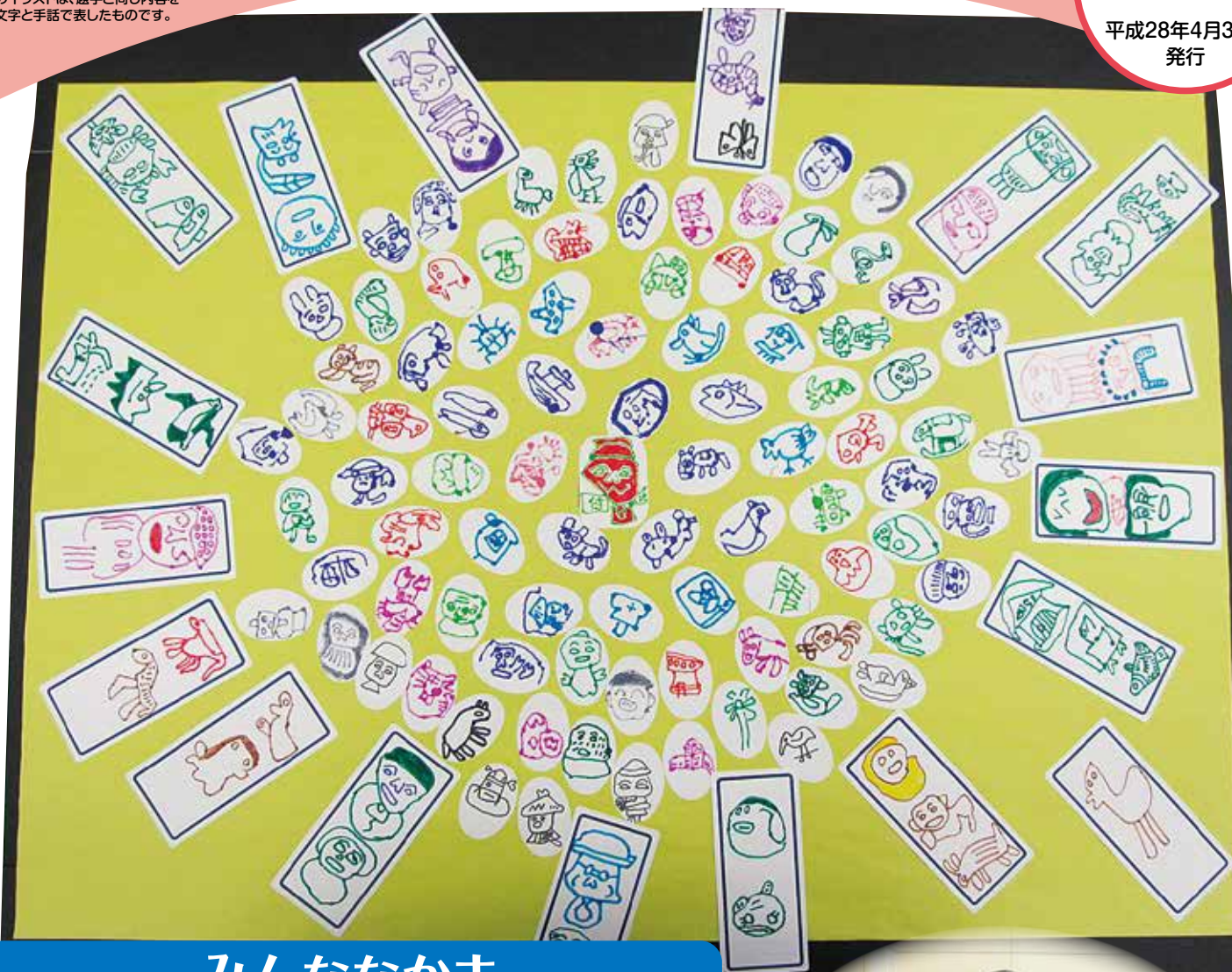
※上のイラストは、題字と同じ内容を
指文字と手話で表したものです。

主 な 内 容

- 理事長あいさつ
「『先義後利』の心を大切にする事業団として」… 2
- 経営理念・基本方針、中長期経営基本計画 …… 3
- 新採用職員紹介 …… 4、5
- 新任常務理事紹介 …… 6
- 経営企画室から「自律（自立）経営のスタート」… 7
- 支援検討発表会・長期職員派遣研修報告会 …… 8
- 余暇支援企画第1弾「ニコニコゆけむりツアー」

第123号

平成28年4月30日
発行



みんななかま

今回は、地域生活支援センター「歩夢」を利用されている佐々木 淳さんの作品をご紹介します。

この作品について、ご本人にインタビューしたところ、「みんなを楽しませたくて」と笑顔で語ってくれました。そして、「みんなに見てほしいから、これからも楽しい作品をいっぱい作ります」と、創作活動に意気込む佐々木さんは、とってもイキイキしていました。

これからもユーモアあふれる作品をみなさんにお届けしたいと思います。



社会福祉法人 岩手県社会福祉事業団／ホームページ：<http://www.iwate-fukushi.or.jp>

岩手県社会福祉事業団 経営理念・経営基本方針

<経営理念>

岩手県社会福祉事業団は、ご利用のお客様の人間の尊厳の保持を旨として、お客様の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、地域福祉を推進し、全ての人が相互に人格と個性を尊重し、支え合いながら、その人らしく共に生きる豊かな社会の実現に貢献します。

<経営基本方針> (行動指針)

1 お客様本位の良質かつ適切なサービスの提供

常に、お客様の立場に立って考え、人権の擁護とお客様本位の質の高いサービスの提供に努めるとともに、創意工夫し、社会環境の変化や地域ニーズに即応する新たな事業の展開に挑戦します。

2 地域福祉の推進

幅広い関係者と連携・協働し、福祉サービスを必要とする人が、地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるよう、地域福祉の推進に努めます。

3 人材育成と働きがいのある職場づくり

計画的な人材の育成に努め、法人経営と質の高いサービスの提供を担う「優しい心、高い専門性、強い責任感と自省心を持ち、向上発展する人材」の育成に努めます。

常に学習する態勢をとり、情報と衆知を集め、良い仕事をする「学習する組織」を目指します。

4 信頼される組織運営と経営基盤の安定・強化

当事業団は、県が出資する社会福祉法人という、極めて公共性の高い組織であるということを自覚し、全ての職員が高いコンプライアンス意識を持ってサービス提供に当たること、県民の信頼に応えるよう努めます。

また、施設・事業所ごとの経営分析に基づく経営改善、事業継続に必要な積立金等の計画的造成、人材育成における各職制で必要な経営意識の醸成等によって、福祉サービスを将来に渡って安定的に提供し続けるための体制を強化し、事業団としての使命を果たすよう努めます。

中長期経営基本計画

経営理念の実現のため、経営基本方針に従い、平成23年度から重点目標を定め取組んでまいりました。今回、前期5年の実施結果を振り返るとともに、社会情勢の変化等を踏まえて計画を見直し、下記のとおり、後期の重点目標を定めました。引き続き計画の着実な推進に努めてまいります。

☆重点目標と重点項目

I お客様本位の良質かつ適切なサービスの提供

- 人権擁護の徹底
- サービスの質の向上
- 社会・地域との関係の維持・促進
- 福祉関係法令への対応

II 地域福祉の推進

- 社会資源としての地域提供
- 福祉需要に即した事業の推進
- 地域とのコミュニケーション

III 人材育成と働きがいのある職場づくり

- 人材の確保
- 人材の育成
- 働きがいのある職場づくり

IV 信頼される組織運営と経営基盤の安定・強化

- 社会福祉法人制度改革への対応
- 経営基盤の安定・強化
- コンプライアンスの徹底
- 災害対策の強化



◎イラスト
岩手県立児童館いわて子どもの森
菊池未来子 主事

今年度は、当事業団として、自立(自律)のスタートの年度であります。まさに、職員一人ひとりの個々の力だけでは、進めることはできません。昨年度問いかけた、「誇りと自信」の再認識、地域の方々の「未来への誇りとなりうる事業団」をめざすためには、『職員個々の力の結集が必要』です。利用者やその家族の方々、また地域の期待に応えるべく、私達自身が、**地域福祉の要としての立ち位置を意識し、自分達の日々の仕事の中から、『時代のニーズを捉えつつ、実践する力』を持ち進んでい**

くこと、が求められているものと思います。

1 事業団としての自立(自律)の 第一歩の年

「中長期経営基本計画の中間見直し」、「後期実施計画の策定」が行われました。将来に向けての、事業団の目標となります。経営改善検討委員会の中で、職員皆で話し合い、各検討部会の中でもいろいろな検討をしてきております。日々の業務の中での悩みを解消するには、利用者の方々にご満足いただく毎日を通じていたいただくには、**「何を变え、何をしっかりと続けていけば良いのか、『長期の視点で自ら常に考え実行』していく」**こととしましょう。

2 福祉サービスの向上へ学習と 実行・経営力の確立は両輪 (「法人力」の強化と社会福祉法人 制度改革)

次の2点を進めていきましょう。
(1)「福祉サービスの向上」へと「学習と実行」

昨年度は、「行動障がい」「発達障がい」「高齢障がい」及び「触法障がい」の4部会で、若手・ベテランのメンバー参加のもと事例検討を進め、1月には発表会を開催しました。また、2月には「利用者の皆さんと花巻温泉への小旅行」を行いました。「利用者の方々のために、よりベストなサービスを！」、そのために、**「時代の変化に対応した日々の学習・努力を惜しまず、職員皆の知恵と知識を結集し、『事業団としての大きな力』としていくことが大切です。**

(2)「経営力の確立」へと 改革改善

この3月に社会福祉法の改正があり、全国的に「社会福祉法人の制度改革」が動き出し、また「障

害者差別解消法」が施行されました。これら新しい取り組みへの対応をしっかりと行い、さらなる法人力の強化をめざし、「施設個々の分析」、「事業団全体の分析」など、**自ら改革・改善を進め、将来の利用者サービス向上はもろろんのこと、『地域振興の役割』も果たしていきたいと思います。**

3 「時代のニーズ」に沿ったサ ービスをめざして：「先義後利 の視点」を意識した事業団と して

「療育センター」の矢巾への移転に向けた準備、「みたけの園・みたけ学園」の改築検討、そして「中山の園」の将来を見据えた検討、が始まります。それぞれの地域特性に応じた視点とともに、広域的な状況を踏まえた経営体制を整え、利用者や職員の皆さん、そして地域の方々の、『地域の誇りとなりうる事業団』として、率先して限らない地域福祉の向上をめざしていきたいと思います。この二年、『次の時代につながる、地域とともに歩む二年』にしていきましょう。

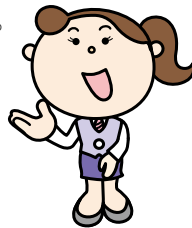


平成
28年度

新採用職員紹介



平成28年4月1日付けで採用した38人の職員が、当事業団の仲間に加わりました。どうぞよろしくお願ひいたします。



和光学園(総合職) 児童指導員 あ こう ゆう けん 赤 穂 雄 健 臍らず、笑顔で、前向きに頑張ります！	たばしね学園(総合職) 児童指導員 あさ いし ゆう じ 浅 石 裕 司 子ども達と、元気にふれあっています！	たばしね学園(総合職) 児童指導員 ぬま た ま な 沼 田 真 奈 明るく笑顔で頑張ります！	みたけの園(総合職) 生活支援員 まつ かわ けい じ 松 川 慶 次 未熟者ですが、経験を積んで成長したいです。	やさわの園(総合職) 生活支援員 やな だ こう へい 築 田 康 平 利用者様の生活を手助けできるように。	やさわの園(総合職) 生活支援員 きく ち あや な 菊 池 彩 那 笑顔を決やらず頑張ります!!!
たばしね学園(一般職) 児童指導員 い と う ひで ゆき 伊 藤 秀 行 笑顔を大切に何事にもチャレンジ頑張ります。	みたけ学園(総合職) 保育士 い と う な み こ 伊 藤 菜 見 子 笑顔と元気を忘れず頑張りたと思います。	みたけ学園(総合職) 保育士 すず き なお や 鈴 木 直 哉 元気に明るく笑顔で頑張ります！	しごとネットさくら(一般職) 就労支援員 かん の ふみ え 菅 野 史 恵 常にフレッシュな気持ちでがんばります！	療育センター(総合職) 児童指導員 すず き な お こ 鈴 木 奈 緒 子 よりよい支援を提供できるよう頑張ります。	療育センター(総合職) 生活支援員 さく とう だい すけ 佐 藤 大 輔 多くの事を学び利用者の架け橋となります。
松山荘(総合職) 生活指導員 ふじ い あさ ぎ 藤 井 浅 黄 笑顔のたえない職員を目指して頑張ります。	好地荘(総合職) 生活指導員 みや とう めぐみ 見 當 恵 元気で明るく頑張ります。	好地荘(総合職) 生活指導員 はやし ざき たかし 林 崎 孝 いつも笑顔を忘れずに、頑張ります。	療育センター(総合職) 看護師 おか だ いく こ 岡 田 育 子 日々向上心を持ち、誠心誠意頑張ります。	療育センター(総合職) 看護師 さく ら い じゅん な 櫻 井 純 奈 元気に笑顔で楽しがんがります。	療育センター(総合職) 看護師 ほし かわ のぞみ 星 川 望 笑顔をたやさずに頑張ります。
松風園(総合職) 生活支援員 いし かわ みづ き 石 川 瑞 月 自分らしく頑張っていこうと思います。	松風園(一般職) 生活支援員 まつ だ ゆう た 松 田 有 太 優しく広い心をもち笑顔で頑張ります。	松風園(一般職) 看護師 お が わ すみ こ 小 川 澄 子 親しまれる様な職員になれるよう頑張ります。	療育センター(総合職) 言語聴覚士 たか の であ めぐみ 小 野 寺 恵 気仙沼出身です。笑顔で精一杯頑張ります!!	療育センター(総合職) 相談支援員 たか はし けい こ 高 橋 佳 子 笑顔を忘れずに、相談支援に携わりたいです。	療育センター(総合職) 臨床心理士兼相談支援員 たか はし あい こ 高 橋 愛 子 笑顔で、専門性を高めて頑張ります。
やまゆり(総合職) 生活支援員 ほそ かわ しん 細 川 慎 前向きな姿勢で、一步一步頑張ります。	やまゆり(総合職) 生活支援員 なが さき りん こ 長 崎 倫 江 笑顔で動きます。	りんどう(総合職) 生活支援員 たか すぎ よう こ 高 杉 洋 子 体力には自信があります。笑顔で頑張ります。	事務局(総合職) 主事 いの う え とも み 井 上 友 美 笑顔で頑張ります。よろしくお願ひします。	辞令交付式 4月1日、事務局において辞令交付式が行われました。理事長から、職員一人ひとりに辞令書が手渡されました。	
かたくり(総合職) 生活支援員 た む ら ま ゆ み 田 村 真 由 美 利用者の方と仲良くなれるよう頑張ります。	かたくり(一般職) 生活支援員 うめ つ ひろ し 梅 津 博 史 一步一步少しづつ前に進みたいと思います。	つつじ(総合職) 生活支援員 むら やま ま ゆみ 村 山 真 弓 明るく元気に笑顔で仕事に励んで頑張ります。	新採用職員研修会 4月7日～8日の2日間に渡り研修を行いました。当事業団の概要のほか、経験談を交えた先輩職員の講義にとっても刺激を受けたようです。 みんな真剣です。 グループワークは、活気にあふれ新採用職員のやる気がみなぎっていました。 自信に満ちた堂々とした発表に今後の活躍が期待されます！		
つつじ(総合職) 生活支援員 お ばら けん と 小 原 健 人 頑張ります。	中山の園(一般職) 看護師 な が の かわ ひさ こ 瀧 澤 久 子 笑顔で前進あるのみ！よろしくお願ひします。	みたけの園(総合職) 生活支援員 はし もと し ほ 橋 本 志 保 気持ちを新たに、笑顔で頑張りたいです。			



常務理事兼事務局長
朽木 正彦

4月に当事業団の常務理事兼事務局長に就任いたしました。県庁障がい保健福祉課に初めて勤務した平成8年頃は、それまでの施設処遇中心の障がい福祉が、地域での普通の暮らしの実現に向け大きく変わる時代でした。グループホームが全国に広がり始め、地域生活

新任常務理事紹介



常務理事兼中山の園所長
鈴木 豊

4月1日付けで常務理事に就任しました鈴木豊と申します。兼ねて昨年度に引き続き、中山の園所長の任に当たります。

昨年度は県職員として、県社会福祉事業団に派遣され、事務局参事兼中山の園所長として、主に中山の園の管理運

を支援する地域療育等支援事業の制度化など、在宅か施設かの二者択一から、グループホームで暮らし、通所施設に通い、地域生活の実現を目指す時代となりました。それはとても大きな変化であり、その流れの中で事業団もいち早くコーディネーターを置き、グループホームを開設し、日中活動の場を増やすなど、本県の障がい福祉をけん引する役割を担ってきました。その後も、支援費制度、障害者自立支援法、総合支援法と続く制度改革の流れにあつて、新事業体系への移行や相談支援事業への参入、障害児支援の新たな取り組み、さらには、発

達障害者支援センター、地域生活定着支援センターの運営、療育センターの指定管理受託、児童分野における自立援助ホームなど、県福祉行政の政策的な事業にも果敢に取り組んでいます。当事業団は障がい福祉から児童福祉等多種多様な事業により、地域福祉を第一線で担っており、そこで働く豊富な人材は大きな財産であり、今後の発展の強みでもあります。職員の皆さんが事業団に誇りを持ち、県民福祉の向上に力を発揮できるよう、私も微力ながら汗をかいていく決意です。よろしくお願いします。

営に当たりながら事務局参事として法人運営にも関わらせていただきました。今年度からは法人の常勤役員となりましたので、水野理事長、朽木常務理事をはじめとして各施設長さんの協力をいただきながら、現在、法人に求められている「自律経営と運営の安定化」に向けて私なりに努力していきたいと考えています。

併せて、昨年度来取組んできました老朽化している「中山の園の改築整備」に向けて、高齢化し医療ニーズが高まってきた利用者の支援に適した施設のあり方をハード・ソフトの両面から検討

をに加え、県との協働の下、関係者のご意見などもお聞きしながら進めていくこととしています。

最後に、組織運営の基本は「ハウレンソウ」と認識しています。職員皆が法人の基本理念や施設の設定目的を理解し、顧客起点に立脚した利用者の自立支援を推進していくためには、業務の目的や進捗状況、課題や取組方法などの認識の共有が欠かせません。コミュニケーションをしっかりと取り合つて進めるためにも「報告・連絡・相談（送達）」を確実に、活力に満ちた組織体にしていくことも使命と考えています。

役員・評議員のご紹介

(平成28年4月30日現在)

理事及び監事

監事		理事	
福島寛志	青山良一郎	米田ハツエ	三上邦彦
中野信男	千田光久	佐々木昌志	佐々木信博
久保田	鈴木豊	朽木正彦	水野和彦

評議員

阿部孝司	今井岳彦	大森紀代美	小川博敬	熊谷久	児玉義輝	今野紀子	佐藤孝
佐藤匡仁	瀬戸満也	高橋修	千田充	得田和明	中上康治	藤原誠一	細川倫史

※五十音順

何が違う？ これからの事業団

－自律(自立)経営のスタート－

本年度は、当事業団が「自らを律した経営」によって、「持続可能なサービスの提供」を始める年です。今回は、「これまでの事業団」と「これからの事業団」では何が違うのかという視点で、これから進めていく「自律(自立)経営」について解説したいと思います。

サービス維持に 県の支援が必要

しかし、今後も施設のサービスを維持していくためには、旧県立施設の特要素因(建物構造、利用者の状況等)に係る経費について、県に支援を求めなければならないのが現状です。

積立金造成や 経営改善が不十分

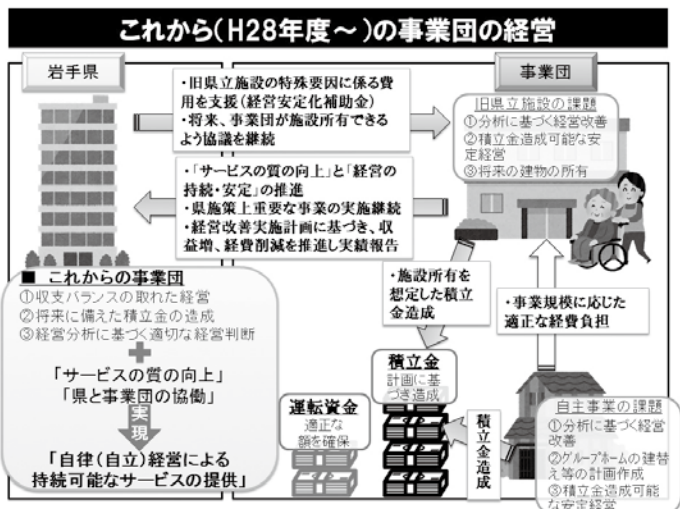
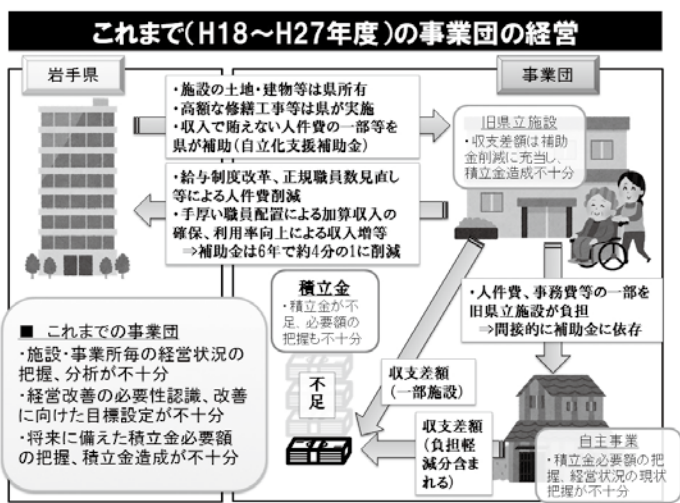
当事業団が経営する入所施設の建物は、県から借りているものです。建物を所有していれば、将来の建替えや大規模修繕等に必要資金を毎年積立てなければなりません。が、当事業団は建物を所有していないことから、積立金の造成に回すべき利益の確保、積立金の明確化がこれまで十分ではありませんでした。

積立金に回すべき利益を「生活費」に使っていたことで、「家計」が回っているように見えたということもあったと思います。また、補助金が受けられることから、収入の不足や経費の増大といった経営上の課題について、改善の必要性の認識や目標を設定した経営改善の推進が十分ではなかったと感じています。

「これからの事業団」 (平成28年度～)

「貯金」で 「自律した家族」に

これから当事業団は、「借家住まい」から「自分の家」を持って、「家計」をうまくや



「サービス提供のための経営」を

これからの事業団の経営は、「利益追求だけが目的」の経営ではなく、「サービス提供のための経営」であることが大前提です。質の高いサービスを提供するため、職員一人ひとりがそれぞれの立場で、経営改善を意識して仕事に取り組んで行く、これが事業団の進める「自律(自立)経営」です。役職員「丸」となつて、前向きに自律(自立)経営を「スタート」させましょう。

(事務局経営企画室長 與羽勝則)



支援検討発表会・ 長期職員派遣研修報告会 開催しました！



大勢を前にして、少し緊張した様子の若手職員でしたが、いざ本番の発表は堂々たるもの!!



社会福祉法人グローへの派遣研修を終え、先進的な取り組みについての報告がありました。



若手からベテランまで約150人の職員が参加。



高齢障がい者検討部会では、各施設で取り組んだ「健康チャレンジ活動」を紹介したほか、参加者全員を巻き込んだ「健康体操」は大盛況!



各部会の発表後に、業務アドバイザーから今後の方向性についてアドバイスをいただきました。



平成28年1月29日(金)、ふれあいランド岩手で、法人内部向けの支援検討発表会及び長期派遣研修報告会を開催しました。

今回は、前号(第122号)でもご紹介した「行動障がい」「発達障がい」「高齢障がい者」「触法障がい者」の4つの検討部会の取組みについての発表や、滋賀県の社会福祉法人グローへ派遣された職員が県外研修の報告を行い、法人内での共有を図りました。

今後も、検討成果や先駆的な取組みについて情報共有を図りながら、県内の福祉サービスの向上に寄与するとともに、障がいについての理解を深め、職員一丸となつて適切な支援に努めてまいります。

余暇支援企画

第1弾

「ニコニコゆけむりツアー」

平成28年2月9日(火)～10日(水)の1泊2日コースで、「ニコニコゆけむりツアー」を開催しました。

この企画は、「普段とは違った活動に参加したい」「楽しく充実した余暇を過ごしたい」というグループホーム利用者さんの声と、「頑張って貯めたお金を、元気なうちに有効に使うため支援が必要ではないか」という支援者側の声から生まれました。

今回は、事業団内のグループホームの利用者37人と、ボランティア7人、スタッフ8人の総勢52人が参加しました。初めての試みではありましたが、利用者の皆さんからは、「楽しかった」「また参加したい」との感想が聞かれ、笑顔あふれる楽しいひと時を過ごしていただけたようです。

次回、企画第2弾もごうご期待!!

2日目

いわて花巻空港にて



皆さんの視線の先には



笑顔で記念撮影!

1日目 志戸平温泉にて



豪華な食事



何から先に食べようかな～



お土産どうしょ～



とても好評だったカラオケ。
最後は、全員で
「世界に一つだけの花」を大合唱!

ホームページ
リニューアルしました!

今後も、採用情報、各施設からの行事やお知らせなど、充実した情報を定期的にお届けしますので、引き続きよろしくお願いいたします。